

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

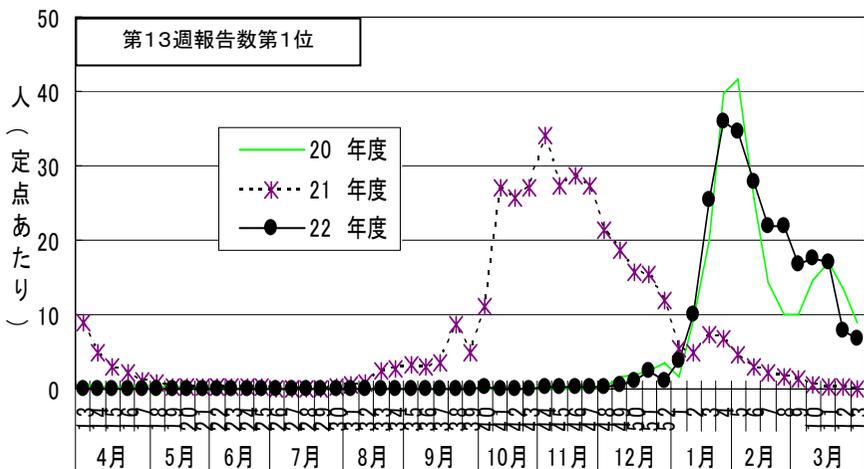


KAWASAKI CITY

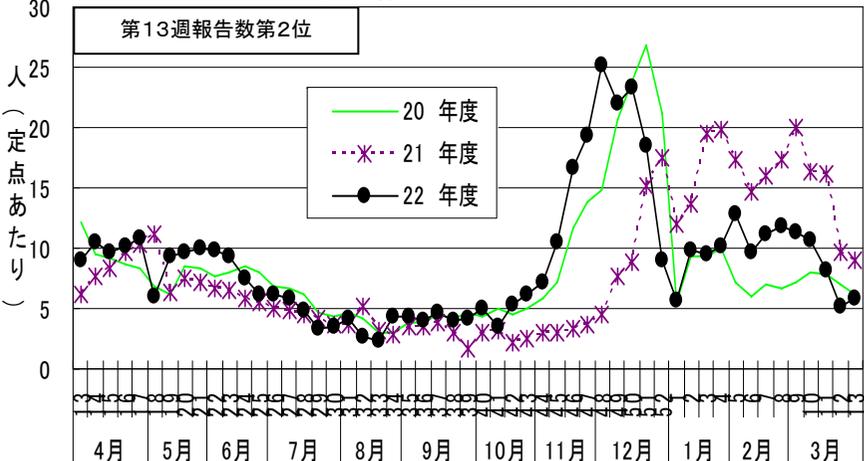
平成23年3月28日(月)～4月3日(日)〔第13週〕の感染症発生状況

第13週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり6.70人と前週(7.81)より患者報告数は減少しています。ただし、これから学校等において新学期が始まり、新たな集団生活が始まりますので、日頃から、手洗い・咳エチケットなど感染防止への取組みに努めるようにしましょう。
 感染性胃腸炎は定点あたり5.76人と前週(5.18)より患者報告数はやや増加しています。これから、暖かい春を迎えるにあたり、食品等の冷蔵保管など取扱いにはより一層の注意をはらうようにしましょう。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



「インフルエンザ(H1N1)2009」って何！

平成21年4月から世界的な流行をみせていた新型インフルエンザ(A/H1N1)の今シーズン(2010/2011シーズン)の流行状況については、12月に流行入りした後、1月末には流行のピークを迎え、現在は流行がほぼ治まった状況となっています。

また、全国的なウイルス検出状況についても、新型インフルエンザ(A/H1N1)のウイルスに加えて、A香港型やB型のウイルスも検出されているなど、季節性インフルエンザと異なる大きな流行等は確認されていません。

そのため、4月1日以降、今般の新型インフルエンザ(A/H1N1)については、通常の季節性インフルエンザとして取扱うこととなり、その名称については、「インフルエンザ(H1N1)2009」とすることとなっています。

インフルエンザにかからないために気をつけたいこと

- ①外出から帰ったら手を洗い、うがいをしましょう。
- ②外出する時は、マスクを着用しましょう。
- ③不必要な外出はやめ、できるだけ人ごみを避けましょう。
- ④加湿をしましょう。
- ⑤十分な休養とバランスの良い食事、健康管理に気をつけましょう。

